古典探究

指導目標	古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典について探究心を持って関わることによって人生を豊かにする態度を育てる。

教材	教科書：高等学校標準古典探究（第一学習社） 学習書：高等学校改訂版標準古典探究 レポート、学習ノート

レポート	全12回
面接指導	標準時間数：３時間（※面接指導減免８割の学習者の必要時間数は1時間）
放送	全42回（ラジオ。N-gaku Online Spaceで視聴。）
到達度チェック・試験	中間到達度チェック（9月）・年度末試験（1月）

単位	4 単位
評価	【①知識・技能】レポート各回の学習内容・成果、中間到達度チェックおよび年度末試験での成果にもとづき評価する。 【②思考・判断・表現】レポート各回の学習内容・成果、中間到達度チェックおよび年度末試験での成果にもとづき評価する。 【③主体的に学習に取り組む態度】レポート各回の学習内容・成果、レポート提出状況（提出期限）、スクーリング出席状況（必要時間の出席充足）、放送視聴状況にもとづき評価する。 上記①～③の総合評価により、年度末に5段階で評定を決定する。

	添削指導（レポート）		面接指導（スクーリング）		放送（NHK高校講座）		オンライン指導	到達度チェック 年度末試験
月	回（提出期限）	指導単元・項目	週	指導内容・学習活動等	回	内容	内容	内容・範囲
4			1 2	①②指導単元名：「説話（十訓抄・古今著聞集）」 学習目標： ・十訓抄…制約のある中でふさわしい返歌をした成範の機転を味わう。 ・古今著聞集…歌で見事に返事をした小式部内侍の歌才を味わう。 学習活動： ・歴史的仮名遣いなど古文の基礎の復習をする。 ・動作の主体を意識して読む。 ・話の展開を整理し、登場人物の心情をを把握する。 ★当時の人々と和歌の関わりについて想像し、考える。	1 2 3 4	・『十訓抄』 文字一つの返し ・『古今著聞集』 小式部内侍が大江山の歌の事 ・『徒然草』 相模守時頼の母は ・『徒然草』 ・よろづのことは頼むべからず	オリエンテーション （学習方法等）	
			3 4					
5	第1回 （5月20日）	◆『十訓抄』 文字一つの返し ◆『古今著聞集』 小式部の内侍が大江山の事	1 2	③指導単元名：「随筆（徒然草）」 学習目標：作者の鋭い観察眼を通して綴られた随筆を読み、ものの見方・考え方を深める。 学習活動： ・各エピソードの整理と、それに対する筆者のコメントを整理する。 ★筆者の視点、話の面白さ、各章段の比較など、多角的に作品を読む。	5 6	・『方丈記』 ゆく川の流れ ・『方丈記』 安元の大火		
			3 4	④指導単元名：「故事・寓話（推敲・朝三暮四）」 学習目標：現在使われている言葉の由来となった漢文を読み、漢文の日本語への影響について理解を深める。 学習活動： ・訓読、書き下しの復習をする。 ・故事成語の意味を知り、どのようなエピソードが元になっているのかを理解する。 ・現代とのつながりを考える。	7 8 9	・故事・寓話「推敲」 ・故事・寓話「朝三暮四」 ・『万葉集』		

6	第2回 (6月20日)	◆『徒然草』 ・奥山に、猫またといふものありて ・相模守時頼の母は ・よろづのことは頼むべからず	1 2	⑤指導単元名：「随筆（方丈記）」 学習目標：時代の転換期に記された随筆から作者の思いを読み取り、ものの見方や考え方を深める。 学習活動： ・場面の状況を理解する。 ・出来事を整理し、筆者がそれをどう感じているのか、把握する。 ★筆者の考え方とその背景などに触れ自分なりの意見を持つ。	10 11	・『古今和歌集』 ・『新古今和歌集』		
			3 4	⑥指導単元名：「和歌」 学習目標：わが国の伝統文化の一つである和歌の表現の特色を理解し、鑑賞する。 学習活動： ・音読し、リズムを確認する。 ・各歌集の特徴を理解する。 ・和歌の形式、句切れ、枕詞などの基本事項を確認する。 ★各歌の主題について理解し、自分なりの読み取りや感想を持つ。	12 13	・『竹取物語』 火鼠の皮衣 ・『竹取物語』 かぐや姫の昇天①		
7	第3回 (7月5日) 第4回 (7月20日)	◆故事・寓話 「推敲」「朝三暮四」 ◆『方丈記』 ・ゆく川の流れ ・安元の大火	1 2	⑦指導単元名：「竹取物語」 学習目標：場面設定や心理描写を読み味わい、その伝奇性を生んだ古代人の想像力に触れる。 学習活動： ・日本最古の物語の特徴を知る。 ・求婚にまつわる状況を確認する。 ・それぞれの心情を整理する。 ・天人の様子や考え方を理解する。 ★作品の面白さや後日談を想像するなど主体的な読み取りを行う。	14 15	・『竹取物語』 かぐや姫の昇天② ・三国志の世界 赤壁の戦い		
			3 4	⑧指導単元名：「三国志の世界」 学習目標：構成や展開を的確に捉え、登場人物の人物像と関係性を理解する。 学習活動： ・本文のストーリーを整理する。 ・赤壁の戦いにおける、曹操、孫権、劉備の状況を確認する。 ・孫権軍の作戦を理解する。 ・戦いの状況と結果を整理する。 ・諸葛亮と司馬懿の関係を整理する。 ・司馬懿にとっての諸葛亮がどのような存在であったかを考える。	16 17	・三国志の世界 死諸葛走生仲達 ・漢詩の鑑賞 絶句、春夜		
8・9	第5回 (8月10日) 第6回 (8月30日) 第7回 (9月30日)	◆『万葉集』 ◆『古今和歌集』 ◆『新古今和歌集』 ◆『竹取物語』 ・火鼠の皮衣 ・かぐや姫の昇天 ◆三国志 ・赤壁之戦 ・死諸葛走生仲達 ・水魚之交	1 2	⑨⑩指導単元名：「漢詩の鑑賞」 学習目標：古代中国の人々の思いを通して考えを広げる。 学習活動： ・音読をして、リズムを味わう。 ・作品と作者について整理する。	18	・漢詩の鑑賞 不出門		
			3 4					
			1 2	⑪⑫指導単元名：「平家物語」 学習目標：登場人物の行動とそれを支える思想や歴史的背景を理解し考えを深める。 学習活動： ・作品についての概要、語り物としての歴史、軍記物語についての情報を知る。 ・登場人物の心情を理解しながら読む。	19 20	・『大鏡』 三才の舟 ・『平家物語』 忠度の都落ち①	前半の学習のまとめ （範囲や出題について）	中間到達度チェック （レポート 第１回～４回）
			3 4		21 22	・『平家物語』 忠度の都落ち② ・『平家物語』 能登殿の最期①		
10	第8回 (10月20日)	◆漢詩 「絶句」「春夜」 「不出門」	1 2	⑬⑭指導単元名：「史記」 学習目標：人物描写から、戦乱の時代を生きた人々のあり方について考察を深める。 学習活動： ・訓点を理解し正確に読み下す。 ・作品の時代背景と登場人物を知る。 ・登場人物の主従関係や敵対関係、それぞれの思惑を理解しながら読む。 ・場面の展開、結末を整理し、登場人物の人物像や心情への理解を深める。	23 24	・『平家物語』 能登殿の最期② ・『史記』 鴻門之会①		
			3 4		25 26	・『史記』 鴻門之会② ・『史記』 鴻門之会③		

11	第9回 (11月15日)	◆『平家物語』 ・忠度の都落ち ・能登殿の最期	1 2	⑮⑯指導単元名：「日記（蜻蛉日記、更級日記）」 学習目標： ・蜻蛉日記…自己の内面を赤裸々に書き綴った心情描写に触れる。 ・更級日記…少女時代の自分を客観的に見つめた作者像に触れる。 学習活動：	27 28 29 30 31	・『史記』 四面楚歌① ・『史記』 四面楚歌② ・『枕草子』 雪のいと高う降りたるを ・『蜻蛉日記』 泔坏の水 ・『更級日記』 源氏の五十余巻		
			3 4	・作品と作者についての概要を整理する。 ・藤原野道綱母の境遇や置かれた状況を整理し、その苦悩を理解する。 ・菅原孝標女の少女時代における『源氏物語』に対する執着を把握する。 ★それぞれの作者の思いを、現代の生活との共通点や違いなどから想像して考える。				
12	第10回 (12月10日)	◆『史記』 ・項羽、大いに怒る ・剣の舞 ・四面楚歌	1 2	⑰⑱指導単元名：「源氏物語（1）（光る君誕生）」 学習目標：平安時代の代表的長編物語の人物造形や心理描写の一端に触れる。 学習活動：	32 33	・『源氏物語』 光る君誕生① ・『源氏物語』 光る君誕生②		
			3 4	・作者や作品の時代背景の理解を深める。 ・帝と後宮の女性たちの関係の中で、桐壷更衣がおかれた状況を把握する。 ・場面、登場人物の行動を整理し、登場人物それぞれの心情を把握する。	34	・『源氏物語』 若紫①	後半の学習のまとめ （範囲や出題について）	
1	第11回 (1月10日)	◆『蜻蛉日記』 ・泔坏の水 ◆『更級日記』 ・源氏の五十余巻	1 2	⑲⑳指導単元名：「源氏物語（2）（若紫）」 学習目標：平安時代の代表的長編物語の人物造形や心理描写の一端に触れる。 学習活動： ・この場面に至る光源氏の況を把握する。 ・頭中将との垣間見で目にしたものを整理する。	35	・『源氏物語』 若紫②		
			3 4	・登場人物それぞれの心情を整理する。特に光源氏が若紫に対してどのような思いを抱いているか丁寧に把握する。 ★華やかそうに思える貴族社会の裏にある苦悩や、作品の後世への影響、今との違いや共通点など、興味関心に応じて自身の学習を進める。	36 ｜ 38	・諸家の思想 （孟子・老子・荘子）		年度末試験 （レポート 第６回～第９回）
2	第12回 (2月5日)	◆『源氏物語』 ・光る君誕生 ・若紫	1 2		３９ ４０	・俳諧 ・玉勝間		
			3 4		４１ ４２	・捜神記 ・柳先生文集		
3			1 2					
			3 4					